

社会

指導方針

多面的・多角的な事実認識に基づき、様々な立場や背景を踏まえて、自分の考えをもち、表現する力を育てます。

「今の私たちの安心で快適な暮らしには人々のどのような工夫があるのか」

「歴史上のできごとがなぜどのような背景で起こったのか」
—社会科は、政治、経済、歴史、地理、文化…など、現代の社会を形づくっている様々なしくみや背景、概念などを学びの対象とする教科です。子供たちが、将来、社会の課題に直面したとき、主体的に社会に参画し、人々がよりよく生きられる社会をつくる力につながることを願いとしています。

そのために、「進研ゼミ」の社会科では、単に知識を学びとるだけでなく、社会の事象の背景やしくみに「何?」「なぜ?」という疑問をもって、「どうなっているのか」「それはなぜなのか」をできるだけ多面的・多角的に調べ、調べた結果(事実)をよりどころに、自分の考えを表現する力を大切に育みたいと考えています。

社会の学習の展開

- ① 疑問に自分なりの考えをもつ「予想」
- ② 予想を確かめていく「調べる」
- ③ 学んだことを生かして考え、表現する
- ④ わかったことから出た疑問をさらに「調べる」